技術・家庭科 《第3学年技術分野》年間指導計画・評価計画

担当（飛内　克悠）

技術・家庭科　目標

（1） 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

（2） 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。

（3） よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

技術分野の目標

（1） 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。

（2） 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。

（3） よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

（例）知は、知識、技能　思は、思考、表現、判断　主は、主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準		評価の方法	小学校との関連
4 5 6 7 9 10 11 12	A材料と加工に関する技術 金属の加工 キーホルダーの製作 ＜10時間＞ 〇部品表と工程表 〇けがき 〇切断・切削 〇穴あけ 〇部品の修正と検査 〇組立てと仕上げ	材料の特徴と利用方法を知ることができる。 材料に適した加工法を知り、工具や機器を安全に使用できる。 材料と加工に関する技術の適切な評価・活用について考えることができる。 使用目的や使用条件に即した機能と構造について考えることができる。 部品加工、組立て及び仕上げができること。	・製作の進め方を理解する。 ・正確にけがきができる。 ・正確に切断ができる。 ・仕上がり寸法線まで金属をけずる技術を理解し，正確にけずることができる。 ・正確に穴をあけることができる。 ・接合の方法と順序を確認し、製作品の表面や角を仕上げる技術を知り，正確に仕上げができる。	主	省資源や使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。	授業監察 プリント	図画工作５年生実習例「自由に切った形から発想したものや用途を考えたものを作る。」などでの使用する工具や加工法との関連
				思	製作品の使用目的や使用条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから材料、用途及び丈夫さなどを比較・検討した上で、製作品やその構成部品の適切な形状と寸法などを決定している。	授業監察 製作図 作品点検 定期考査	
				知	製作図を基にして、材料取り、部品加工、組立て・接合、仕上げができる。	授業監察 製作図 作品点検	
				知	製作における製作図の必要性についての知識を身に付けている。	定期考査 ノート	

1 2 3	C エネルギー変換に関する技術＜4 時間＞ 〇私たちの生活とエネルギー資源の種類 〇エネルギーの変換と利用 〇機器の保守点検と整備 〇機器の安全な利用と事故防止 〇エネルギー変換に関する技術と社会・環境との関わり	エネルギーの生活と社会に果たす役割を理解する。 エネルギー変換の仕組みと安全な利用方法を知る。 エネルギーの適切な活用について考える。	・さまざまな機器を通じて，ｴﾈﾙｷﾞｰとｴﾈﾙｷﾞｰ変換を理解する。 ・ｴﾈﾙｷﾞｰ資源の種類とその利用法を理解する。身の回りの電源の種類と特徴を知る。 ・電気ｴﾈﾙｷﾞｰの変換を理解し，適切な利用方法が選択できる。 ・電気機器の点検について知り，安全な利用について理解する。 ・電気機器の手入れや点検について知り，事故防止の具体的な方法を身につける。	主	エネルギー変換に関する技術の課題を進んで見付け、社会的、環境的及び経済的側面などから比較検討しようとしているとともに、適切な解決策を示そうとしている。	ワークシート 授業監察	
				思	エネルギー変換に関する技術の課題を明確にし、適切な解決策を見出している。	授業監察 定期考査	理科４年生 「電気の働き」との関連。 理科５年生 「電流の働き」との関連 理科６年生 「電気の利用」との関連
				知	漏電、感電、加熱及び短絡による事故を防止できる。	授業監察	
				知	社会で利用されている機器等における、エネルギー変換の、制御、利用についての知識を身に付けている。 エネルギー変換に関する技術が社会や環境に果たしている役割	定期考査 ワークシート	